

KenriBook (けんりぶっく) と出前講座

札幌市では、「子どもの権利」を市民の皆様に分かりやすく紹介するため、小学生の「きらり君」とその家族の日常を四コマのイラストを交えた冊子「KenriBook(けんりぶっく)」を新たに作成しました。

「KenriBook」は、子どもの権利や札幌市の「子どもの権利条例(子どもの最善の利益を実現するための権利条例)」について、お子さんのいる家庭だけではなく、子どものより良い成長のために社会全体に関心を持っていただくため、四コマのイラストや読みやすいストーリーを盛り込むなどの工夫を行い、新たに作成しました。子どもが毎日を生き生きと過ごし、伸び伸びと育つヒントがたくさんつまっています。

冊子については、子ども未来局に在庫がありますので、ご希望の方はお問い合わせください。なお、内容は、ホームページでも公開しています。

また、この「KenriBook」の内容をもとに子どもの権利について、実例をまじえて職員が地域に出向いて説明する出前講座を行っています。こちらもぜひお申込みをお願いします。

- ・10人くらいのグループで、市内に会場の確保をお願いします。
- ・日程や時間などをご相談ください。



▲KenriBookの抜粋

子どもに関するイベントのご案内

◎2013さっぽろ子育て支援推進のつどい

日 程:平成25年11月6日(水)
場 所:道民活動センター かでる2・7(中央区北2条西7丁目)

つどい開催10周年を記念して、ワークショップ(12:00~12:45)と講話や映画上映(12:45~15:40)を行います。

お問合せ:札幌市子育て支援総合センター ☎208-7961
お申込み:10月23日(水)まで
*事前申込みが必要です(先着400名)

◎平成25年度札幌市青少年育成大会

日 程:平成25年11月9日(土)13:30~15:30
場 所:道民活動センター かでる2・7(中央区北2条西7丁目)

お問合せ:札幌市子ども未来局子どもの権利推進課(育成・支援担当) ☎211-2942

札幌市優良青少年及び青少年育成者表彰のほか、片岡五郎氏(俳優、経営診断士、早稲田大学講師)による「子どもを伸ばす6つの法則」をテーマとした講演会を行います。入場無料ですので、当日は直接会場にお越しください。

◎平成25年度さっぽろ子どもの権利の日事業「子どもまちづくりコンテスト」

日 時:平成25年11月17日(日)13:00~16:00 場 所:札幌エルプラザ3階ホール(北区北8条西3丁目)
お問い合わせ:札幌市子ども未来局子どもの権利推進課 電話:211-2942

平成25年度は、「子どもまちづくりコンテスト」として、子どもに関わる活動を行っている団体が、現在の活動や子どもに関し、これからやってみたく考える取組のアイデアを発表します。

札幌市子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課
〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館3階
電話 011-211-2942 ファックス 011-211-2943
ホームページ「子どもの権利のページ」<http://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/>
Eメール kodomo.kenri@city.sapporo.jp



発行



子どもがきらりと輝くまちに

子どもの権利 ニュース

The Rights of the Child

第9号
平成25年10月発行

札幌市子ども議会の活動

子ども議会は、小学5年生から高校生まで公募で集まった子どもたちが、10月から12月までの期間、話し合いや勉強会を重ね、毎年1月に市議会議場で開催される子ども議会本会議の場で、話し合いでまとめた内容を提案し、市長をはじめ副市長や関係局長が答弁を行っています。

平成24年度は、69名の子ども議員やサポートする大学生14名が参加し、6つの委員会に分かれ、それぞれが決めたテーマに基づき7回の委員会を開催し、「雪に親しむための冬の運動会の実施」や「節電に関する広報イベントの実施」などを提案しました。

委員会ごとの個別テーマに加えて、各委員会が共通に話し合いを行う共通テーマとして、平成24年度は「子どもが毎日を安心して過ごせる環境を整えるには、どうすればいいか」を題材に、いじめや不審者対策について話し合いを重ねました。



▲本会議での市長との意見交換の様子



▲委員会での話し合いの様子

平成25年1月8日の子ども議会本会議では、いじめに関して、「スクールカウンセラーの顔や年齢が分からないと、相談するのは不安なので、学校便りで公開してほしい。」「相談機関のプリントを配るときに、先生が声をかけるとぐっと気軽になる。」など、具体的な提案がされました。

提案に対して、学校を所管する教育長からは、「学校便りでスクールカウンセラーを紹介している学校もあるが、すべてではないので、広報の仕方を工夫してもらえるよう働きかけていきたい。相談できる窓口を掲載したカードを配る際には、改めて声をかけるよう取組を進めていきたい。」といった答弁がありました。

また、子ども議員との意見交換では、市長から「いじめは個別的な状況によって対応も異なると思うが、子どもも周りの大人もみんなの問題を解決する方法を考えることが大事。決して見逃さないという気持ちをみんなが持つということを心がけ

てほしい。」とありました。

本会議の最後に、市長から「子ども議会だけではなく、例えば学校などふだんの生活の中でも、意見や提案を言ったり、まとめたりしてもらえると、このまちはもっと素敵になる。」とあいさつがありました。

札幌市では、子ども議会からの提案を市政に反映しており、これまでは市民防災センターの館内のルートを示したワークシートの作成(平成23年度)や、地域の絆を深め、住民の防犯意識を向上させるため、花いっぱい運動の積極的なPR活動(平成22年度)などが実現されています。

平成24年度についても、節電に関する啓発活動の一環として、キャラクターの作成やエコライフポールの改善などを行っています。



▲本会議終了後の記念写真

▼子ども議員の提案を受け作成した節電キャラクター「LED」



高校生の町内会役員に聞く!!

この春、北野まきば町内会(近藤裕一郎会長)役員に就任した高校生の飯島優佳さんに現在の活動や今後の抱負などについて、飯島さんが企画した町内会行事「カレーパーティー」でインタビューを行いました。

● 役員になろうと思ったきっかけは?

— 小さい頃から地域の行事に参加はしていましたが、町内会長さんに頼まれました。

● 役員になってみて、やりがいを感じる事、大変なことは?

— これまでは行事に参加するだけだったのが、実際に企画や運営をしてみて、その大変さが分かりました。たくさんの人に助けられています。また、町内会報の「ユウカの眼」も大変です。

● 地域の人へメッセージをお願いします。

— イベントをきっかけに地域の人がもっと仲よくなしてほしいです。

● 同じように他の地域でも若い役員になりたいと思っている人へ向けて。

— 役員になって、いろいろな人と関わることが増え、多くのことを学んでいます。自分たちのマチのためにもぜひ立候補してみてもは?

● 最後に近藤会長から一言お願いします。

— 近藤会長:最初は心配したが、楽しんでくれているようでホッとしている。飯島さんが楽しむことが町内会にとってもプラスであり、飯島さんが役員になったことは、今後のことを考えてもとてもよかったと思う。これからもがんばってほしい。



飯島優佳さん

(いじまゆうか)

北星学園大学付属高等学校に通う2年生。平成25年4月に清田区北野まきば町内会の青少年育成副部長に就任。

学校祭の実行委員としても活動。趣味は、ピアノを弾くことやお菓子を作ること。

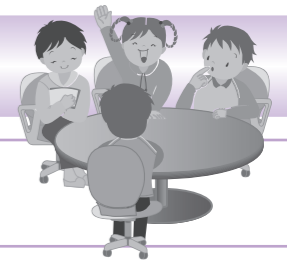
ユウカの眼
みなさん、こんにちは。優佳です。今月の6日は、よいカレーパーティーです。今まで私は、行事の参加者側だったので、なにも考えずに、当たり前のように参加してきました。ですが今回は初めて、企画者側として行事に参加します。役員になったことで、一つの行事を運営する大変さを知りました。特に今回は、カレーを作るので、材料の分量決めや辛さの調節が大変だったと思います。私はあまり分量についてはわからなかったのですが、



▲ 7.6(土)に行われたカレーパーティーの様子。右が飯島さん、左は近藤会長。約200人の参加があり、大盛況でした。飯島さんのお母さんからは、「みんなに協力してもらい、大好きなカレーを食べられないくらい頑張っていた。」とコメント。



札幌市の子ども参加 子ども議会を振り返って



平成24年度の子ども議員に応募動機や参加した感想をインタビューをしました。

● 最初に応募したきっかけは?

- ・ 市役所の仕事について、勉強になると思ったことや、提案できる機会というのはあまりないと思ったから。(小林優斗 子ども議員)
- ・ お兄ちゃんがしていて、おもしろそうだったから。(金澤菜々珠 子ども議員)

● 子ども議会のここがいい!

- ・ 自分の意見を否定されないところ。(松澤翔馬 子ども議員)
- ・ 札幌市のことを学ぶことができることや、意見の違う人とも交流できるところ。

きるところ。

- (高田芽実 子ども議員)
- ・ いろいろな学校の人と仲良くなれ、意見交換ができて楽しい。いつもの学校とはまた違った楽しみがある。(斉藤望乃 子ども議員)

● 子ども議会を経験して自分自身が成長したと感じる場所は?

- ・ 自分の意見をしっかりと伝えることができるようになった。(金澤菜々珠 子ども議員)
- ・ 話し合いの進行がうまくなった。(小林優斗 子ども議員)

● これからなってみたいと考えている人へ向けてのメッセージ

- ・ 子ども議会では、自分の意見が採用されるので、意見をたくさん言うことができ、楽しいですよ。(松澤翔馬 子ども議員)
- ・ 楽しくまちづくりについて考えることができます。難しいことも、大学生のサポーターや市役所の方が教えてくれるので、ぜひ子ども議員になってみてください。(高田芽実 子ども議員)

札幌市の子ども参加 子どもサポーター養成講座

～地域で子どもの参加を支援するために～

地域の活動や行事へ子どもの参加を進めるための知識や手法を学ぶ「子どもサポーター養成講座」を開催しています。

「サポーター養成講座」は、子どもの権利条例に基づく子どもの参加の機会の促進を目的に、主に地域で子どもに関わる活動を行っている方などを対象に、平成22年度から実施しています。

講座では、子どもと活動する際のコミュニケーションの取り方や行事に参加する際に子どもを支えるサポーターとしての役割や視点に

ついて学ぶ「基礎編」や実際に子どもと一緒にイベント等の企画を考える「子どもとの企画編」や子どもの主体性を引き出す自然体験を行う「活動体験編」など、さまざまな講座を開催しています。

これまでの延べ受講者数は400名を超え、「企画の立て方やニーズのポイントがしぼられ参考になった。」「経験がなくても楽しく参加できた。」「またこの仲間で作ってみたい。」といった感想が寄せられました。



平成26年2月頃には、講義形式の講座を実施する予定です。皆さんも一緒に子どもの参加を進めてみませんか?



★お問い合わせ★
札幌市子どもの権利推進課
(TEL: 211-2942)